

○大人(中高生以上) **500**円 ○小人(4歳以上) **200**円
※団体割引あり(30名以上)

M
A
P

まるごと

山
寺
やまでら



山寺観光協会

ガイドと歩く

日本語ガイド
きざはし会

要予約

山寺の名所旧跡をあますことなくご案内。地元ガイドならではの秘話も交え、楽しいひとときをお楽しみいただけます。



予約・お問い合わせ

Tel.023-695-2816 山寺観光協会



外国語ガイド
Yamaderans

要予約

山寺の本堂「根本中堂」の不滅の法灯を拝観し、奥之院まで英語でご案内。歴史や自然、地域の人々にまつわるエピソードもお楽しみいただけます。



予約方法

WEBサイトより
ご予約ください



年間行事

一般参加等可の行事

開催日時	行事名	問合せ先
1月 1日 0:30	初護摩供祈禱法要	立石寺事務所
1月 14日 11:00	慈覚大師後遠忌法要	〃
1月 17日 13:00	大般若祈禱法要	〃
2月 3日 14:00	節分法要	〃
2月 初旬 9:00	こけし雪だるまコンテスト	山寺観光協会
2月 下旬 13:00	雛のみち・風流茶会	〃
4月 14日 8:15	円仁祭	〃
5月 17日 終日	山王日枝神社大祭	〃
6月 13日 11:00	四寺回廊・四寺法要	立石寺事務所
7月 上旬 10:00	全国俳句大会	山寺芭蕉記念館
7月 13日 14:00	気分は芭蕉	〃
7月 下旬 18:00	宝珠山ライトアップ(8月下旬まで)	〃
7月 下旬 14:00	子ども芸能フェスティバル	〃
8月 6日 18:00	夜行念仏講	〃
8月 初旬 9:00	磐司祭り	〃
8月 下旬 18:00	かがり火芋煮会	〃
9月 彼岸中日 11:00	奥之院施餓鬼会	立石寺事務所
9月 下旬 10:00	山寺音楽祭(面白山)	山寺観光協会
9月 下旬 9:00	記念殿一般公開	〃
10月 中旬 9:00	歩行者天国・マルシェ	〃
10月 下旬 17:00	宝珠山ライトアップ(11月上旬まで)	〃
11月 28日 6:00	法華経写経奉納法要(うる年のみ)	立石寺事務所
12月 上旬 10:00	学業成就祈願法要	山寺観光協会
12月 30日 10:00	鐘楼すす払い・お供え餅つき会	〃
12月 31日 23:30	大晦日除夜の鐘	〃



節分法要



山王日枝神社大祭



磐司祭り



法華経写経奉納法要

お問い合わせ

山寺観光協会
TEL.023-695-2816
FAX.023-695-2810
〒999-3301 山形市山寺4495-15



ようこそ、山寺へ。

山寺(立石寺)は、すべての方々が平安で栄え、健康で安心して暮らせるようにと祈るお寺です。祈りの世界、四季折々の多彩な景勝、俳聖・松尾芭蕉の「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」の風情、名勝・史跡の数々をぜひ堪能して下さい。

宝珠山 立石寺貫主
清原 正田

山寺
とは？



- 正しくは宝珠山立石寺、通称『山寺』と呼ばれ、天台宗に属します。創建は貞観二年(860年)、天台座主第三世・慈覚大師円仁によるものです。
- 円仁は、この地を訪れた際に砂金千両と麻布三千反で周囲十里四方を買い上げ、堂塔三百余りを建立して布教に努めました。開山時、本山延暦寺から最澄の「不滅の法灯」を分けられ、香を絶やさず四年ごとの写経行を護る寺院となりました。
- 鎌倉時代には繁栄しましたが、室町時代に戦火で衰退。その後、江戸時代に千四百二十石の朱印地を受け、堂塔が再建されました。元禄二年(1689)には俳聖松尾芭蕉が訪れ、「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」という句を詠んでいます。
- 現在約百町歩(三十三万坪)の境内に大小三十余りの堂塔があり、法灯・常香・写経行の「三つの不滅」が今も護られています。
- 山内のいたるところに、「後生車」と呼ばれる木製の塔婆が立てかけられています。後生車には、亡くなった人の戒名が刻まれており、回転する祈りのための車が付いています。これを回すと経をあげることになります。国籍・宗派を問わず供養する人たちを受け入れています。

奥之院供養料



お参りの作法

お寺の参拝作法

お寺では、合掌とともに一礼をします。合掌とは、胸の前で手を合わせる作法のことです。宗派によって形式に違いはありますが、お寺で礼拝する際の基本であり、仏様と一体になることを表しています。



1.

山内各寺院・お堂にお参りするときは、脱帽し合掌、一礼して入ります。



2.

参拝時は、お賽銭を静かに入れて合掌し、お参りします。※根本中堂・奥の院は参拝前に、ろうそく・線香をたてます。

※堂内では、写真撮影及びベットの連れた参拝はご遠慮ください。

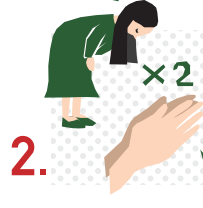
神社の参拝作法

深いお辞儀を「拝」、手を打ち鳴らす動作を「拍手」と呼び、どちらも日本古来の敬礼作法です。御神前では「感謝の心」を込めてお参りしましょう。



1.

鳥居の前で一礼し、端を歩き進みます。



2.

神前に着いたら、お賽銭を静かにいれ、二礼二拍手一拝をしましょう。

御朱印について

山内各寺院・お堂で参拝後、御朱印帳を開いてお渡しください。御朱印ができるまで静かにお待ちください。

- ※写真撮影はご遠慮ください。
- ※御朱印は御朱印帳のみでお受けできます。(ノートやスケッチブック等は不可)
- ※奥之院如法堂では、紙の御朱印をお渡ししておりません。
- ※御朱印帳にスタンプ等がある場合、御朱印をお受けできません。
- ※御朱印帳のカバーは外してお渡しください。
- ※小銭をご用意ください。



院内・お堂では脱帽します。